



◇発行所
鳥城会事務局
〒090(9375) 7469
◇制作
(有) august design
〒03(5832) 9177

告 報 会 総 の薫陶を受ける

平成25年度鳥城会は、西高28期が幹事年で、11月2日、アルカディア市ヶ谷で開催されました。坂口祐二氏(鳥取西高校長)、蔵多敏夫氏(鳥取西高総務部長)、大場尚志氏(鳥取県東京本部長)、八村義郎氏(東京東雲会(鳥取東高同窓会)副会長。現在は故人)、森尾稔氏(ソニー株式会社社友・西高9期)、池内勝彦氏(鳥取西高同窓会副会長)をお招きし、鳥取一中62期から西高51期までの幅広い年代から、総勢140名の参加者により、盛大に執り行われました。



ソニー株式会社社友 森尾稔氏

総会では、篠田会長から挨拶を頂き、昨年1年間の活動及び決算の報告、並びに、次年度の計画及び予算の説明があり、了承されました。そして、昨年1月13日に逝去された林田達郎副会長兼事務局長の後任として、山根かおる氏(西高20期)が選任され、総会は滞りなく終了しました。

引き続き、イベント「先輩に聞く」が、パネルプレゼンテーションの形式で開催されました。鳥取西高の大先輩である森尾稔氏(ソニー株式会社社友・西高9期)を壇上にお招きし、中村昌弘(株式会社レクサー・リサーチ代表取締役・西高28期)が聞き手となって、森尾氏が、創業直後のソニー株式会社に入社し、ソニーの創業者である井深大氏、盛田昭夫氏の新しい課題に取り組みチャレンジ・スピリットの薫陶を受けて、製品開発に取り組んだ話を聞かせていただきました。

この後、会長と来賓を囲み、世代毎に4グループに分けて記念写真の撮影を行いました。そして、引き続き、懇親会が開催され、冒頭、坂口校長からご挨拶を頂き、現在の鳥取西高の近況をお伝え頂きました。また、坂口校長は、現在の鳥取西高の生徒たちが、学校の近況を撮影したDVDをご持参くださいました。



懇親会の様子

そして、恒例、鳥取県の地酒の蔵元株式会社稲田本店及び和食居酒屋稲田本店の御好意による提供のトップ水雷の酒樽で、来賓一同により鏡開きを行いました。乾杯の御発声は、今回、最年長の西村和義氏(鳥取一中62期)にお願いし、和やかな懇親会が始まりました。

懇親会は、昨年と同様、若い世代の参加者と諸先輩が闊達な歓談を交わし和やかな時間が経過しました。懇親会後半では、坂口校長が持参してくださったDVDの上映も行われ、懐かしいキャンパスで生き生きと活躍する後輩たちの映像を頼もしく見て楽しんでました。また山根事務局長からは、還暦を迎える参加者に記念品として、赤いクルトガ(シャープペンシル)が贈呈されました。

最後に、鳥城会の同窓会旗を、本年幹事から来年幹事代表に引継ぎ、神谷昭光氏(西高11期)の指揮、鈴木尊善氏(西高27期)のエンルで、校歌斉唱を行い、閉幕となりました。

内田公志(西高28期)

皆様からの会費が鳥城会のさまざまな活動を支えています。おかげ様で、総会、各種イベント、会報の発行も順調に進行しております。同封の郵便振替用紙で平成26年度会費(ただし80歳以上は免除)を納入していただければ幸いです。

また、ご寄付も受け付けておりますので、合わせて納入し、いただくと幸いです。

- 平成25年度総会出席者(敬称略)
- ◎来賓 森尾稔・ソニー(株)社友(西高9期)、池内勝彦・鳥取西高同窓会副会長(西高30期)、坂口祐二・鳥取西高校長(西高23期)、蔵多敏夫・鳥取西高総務部長(西高27期)、大場尚志・鳥取県東京本部長、八村義郎・東京東雲会(鳥取東高同窓会)副会長・現在は故人
- ◎会員(鳥取一中)▽62期・西村和義、(鳥取西高)▽5期・香月 蔵、▽6期・山田憲典、▽7期・岸本弘志、▽9期・久米澤喜一郎、守屋正教、山下和明、▽11期・安治稜夫、金子亮太郎、神谷昭光、杉野哲郎、山根英樹、吉村博邦、▽13期・篠田伸夫、▽14期・柳田皓一、▽15期・中川浩明、三角幸子、▽16期・寺澤辰磨、▽17期・岩田美穂、▽18期・山田雅行、吉田政雄、▽20期・砂原真智子、山根かおる、若原小都美、▽21期・上山紀夫、▽22期・山崎恒樹、▽23期・草野博道、武田祐孝、永美和憲、▽24期・西垣 栄、▽25期・山根恭子、▽26期・岡本貞恵、加藤重雄、木下孝明、澤田嘉郎、霜村 稔、武田太老、丹根久司、▽27期・井口靖浩、尾崎一司、木島 修、厨子彰英、中村由紀人、細川 洋、渡辺健次、▽28期・石黒真一、内田公志、大森悦子、柿本茂文、金子一彦、北村公直、蔵本直子、佐藤美穂、沢 敏之、下田正子、関根美智子、武田博史、田中利明、中屋英英、永田尚人、中西 盟、中村昌弘、福井幸治、細井和宏、松本茂己、丸山久幸、三谷昌平、山下隆弘、横山重樹、米田敏也、渡辺 弘、▽38期・宮脇浩史、▽41期・水次朗、▽42期・小倉亮子、▽43期・寺谷 次朗、▽45期・花房幸範、遠藤智恵子、梶谷彰男、河崎妙子、木下 彩、▽51期・高橋佳子、宮崎正一郎

会費納入のお願い (事務局)

欠席された方々の近況など

総会を欠席された方々のうち、連絡ハガキの通信欄に近況など書き込んであるものを選びました。なお、昨年10月時点の便りであることをご承知おき下さい。(敬称略)

(鳥取一中)

中本誠一郎(54期) 6月30日に亡くなりました。生前お世話になりました事、厚く御礼申し上げます。

猪口高明(55期) 鳥城会に謝す。視力ゼロ、風景を失いましたので今回を持って摺筆いたします(代)。

谷尾 侃(55期) 年の割を付すれば「極めて」付けられる健康です。旧陸軍(含陸上)幹部の会・偕行社の理事を勤めています。

岡田 明(56期) 林田前事務局長様の「冥福をお祈り致します。私は介護の必要の無い身ですが、生活のリズム保持の為今もDay Serviceを利用しています。傍ら2007年7月晩学で取得した英国のYork St. John Universityの修士号(国際学)に恥じぬ様に、変貌する国際関係の理解に努めて居ります。

藤原謙二(56期) 近場の散歩もままならず殆どの家の外に出ることはなくなり運動もごく僅かになりました。御迎が近くなつたなあと感じます。90才が目標ですが、達成できるかどうか。皆様によるしく。

岩崎益実(57期) 85才になりましたが元気で診療をしております。時間的なゆとりがなく伺えないのが残念ですが、失礼致します。

三谷信実(57期) この9月で86才を迎えます。今年春ごろから膝を傷め、20年以上続けてきたダンスともいよいよおさらばの危機に立ってユウツです。

川口義男(58期) 町内老人クラブの会長として、友愛活動・生きがいづくり活動・健康づくり活動などに微力ながら力をつけておられます。2020年の東京オリ

ンピックには元気で参加できるよう頑張りたいものです。

倉信隆弘(58期) 元気です。2km.の散歩は毎日続けております。

田中達三(58期) 現在、介護付老人ホームに入居中です。体力的にも厳しくなっていますので、今後総会等への出席は困難と思われま。ですから、総会へのご案内は次回からはご辞退申し上げます。よろしくお願い致します。達三の長男・田中整。

稲富道治(60期) 元気です。略々現役時代と同じ生活をしております。

上田明之(60期) 鳥城会の皆様のご健勝をお祈りします。画像と和歌のホームページを更新しています。http://homepage2.nifty.com/udaky/ (旅に詩う)。

小泉準三(60期) 近くの病院に勤務して居ります。

三木龍夫(60期) 持病が増え、このところ二病息災あたりを願って通院治療中です。御盛会をお祈りいたします。

岩田 陽(60期) 林田前事務局長は、61期の例会には毎日出席され、ありがたい情報源でした。しかも殆ど私の隣りが定席。昨年(2012年)10月日黒史跡巡りの懇親会で交わした会話が最期となつてしま、淋しい限りです。ご冥福をお祈りします。

松田信徳(61期) 体調不良のため欠席します。会の御盛会を祈ります。

村野兼雄(61期) 林田達郎事務局長のご逝去に対し謹んで哀悼の意を表します。ながい間、有り難うございました。

山本輝通(61期) 元気ですが、体力に自信がないので欠席します。ご盛会をお祈りします。

山本雄二郎(61期) 日本版NSC(国家安全保障会議)設置也。集団的自衛権行使、週刊誌に「中韓と百年戦争」の大見出しが踊る。戦後民主主義を謳歌した世代として「あの時代」への回帰を恐れること

しきり。「東京五輪」も国威発揚の道具にすぎない。鳥城会の諸兄姉は「不条理の現実化」を容認しないで欲しい。

横山 豊(61期) 老人ホームに入居して5年が経ちましたが、余生を楽しんでいます。ご盛会をお祈りします。

原 桃介(62期) 体調不良のため、欠席します。

青柳寿久(62期) 平成24年9月18日、91才死去致しました。霊位鳳翔院寿山久照居士、生前中は種々とお世話様になりまして、有りがとう御居ます。お礼申し上げます。

(鳥取西高) 岩崎美重子(1期) 出席されます方の年令がどんどん若くなられます。私達同期の方達の名前が少なくなりました。一応元気で地域の方達へのボランティアと自身自身の趣味を大切に生活しております。

橋本邦雄(1期) 元気に過ごしております。所要の為欠席いたします。御盛会をお祈りします。

中尾禮二(2期) 御連絡が悪く申し訳ありませんが、去る平成22年下期より不治の病となり全ての活動が出来なくなりました。よろしくお願ひ申し上げます。

牧野和春(3期) 10月拙著「耕尽」(こうじん)を出版

三田耕治(3期) 傘寿を過ぎましたが元気に暮らしております。鳥城会の増々のご発展をお祈りします。

岡田 栄(5期) 本人は健康ですが、家内体調不良のため欠席します。

北村孝行(5期) おかげさまで、日々趣味三昧に過ごしております。ご盛会をお祈り申し上げます。

田中文雄(5期) 小生儀78歳の後期高齢者となりました。趣味の山登り等に励んでいます。近親者の訃報・葬儀等への対処に追われる事も多く多忙です。

西山喜久子(5期) 益々の御盛会をお祈りしてあります。

山本 智(5期) 健康維持の為ウォーキングとジム通いは続けています。東京五輪迄頑張りたいものです。

中田 悟(6期) 極めて元気に喜寿の夏を過ごしました。書道に懸命に取り組んでいます。

奥田京二(7期) 病氣療養中です。奥田内林 輝男(8期) (医療法人 林医院) 長女が後を継いでバリバリやっております。今は孫の教育にと云ったところです。

岸田道則(9期) 畑を借りて、晴耕雨読的な生活をしていきます。

篠田英男(9期) 誠にもって残念! 10/24から1週間から2週間手術のため入院中です。きつと11/2は未だにベッドの上だと思えます。大・大・大盛会を祈つていきます。森尾くんはヨロシクお伝えください。ほんとうにザンネンだわいや!!

永田 昇(9期) H24年11月11日6年間の療養生活の甲斐なく他界致しました。皆様に大変お世話になりました。皆様に宜しくお願ひします。内 多賀子。

糸尾一郎(11期) 年2、3回帰郷し、変わらぬ街並み、久松山の姿を懐かしんでいます。

松下充孝(11期) この2月に同期の会に参加し、帰路母校をはじめ、久松山に登り、市内の美しさを楽しみました。西高の発展を心より願っております。ご盛会を祈念してあります。

安木米吉(11期) ご案内を頂き恐縮です。盛会をお祈りいたします。

米田きよみ(11期) 盛会をお祈りします。

井畔裕子(13期) いつも御世話になっております。あいにく、予定が重なり、出席することができません。盛会をお祈りしております。

横川靖憲(13期) 病気につき欠席します。

田村玲子(15期) 新潟に転居することになりました。準備中です。皆様お元気で活躍ください。退会という事でよいでしょうか。

岡田一郎(16期)両親が健在にて広島に移つたため、鳥取へは10年以上帰っていない。盛況を祈念して。

村上秀男(16期)ご盛会をお祈り申し上げます。大学勤務の傍ら、旅行を楽しみに元気に過ごしています。

吉田弘己(16期)元氣です。

鷲見公二郎(16期)毎月介護帰省し乍ら、元気に過ごしております。

檀原 雅(17期)ご盛会をお祈り申し上げます。

小林秀晴(18期)相変わらず元氣です。

高見さち子(18期)平成25年9月18日病氣により亡くなりました。よろしくお心配ください。夫

谷尾俊二(18期)鳥取にUターンしましたので鳥城会は脱退となります。ありがとうございました。

安木さづ子(18期)御案内有難うございました。盛会をお祈り申し上げます。当日、予定があり欠席させていただきましたが、御出席の皆様宜しくお伝え下さい。

大西雅夫(19期)相変わらずの毎日です。おかげ様で今のところ元氣で暮らしております。3連休を利用して小旅行に参る予定にしております。

小島憲道(19期)11月2日は海外出張のため、失礼させていただきます。盛会でありま



鳥取一中～西高21期のみなさん



西高22期のみなさん



西高23期～26期、29期から以降のみなさん



西高27期、28期のみなさん



懇親会風景

すように。

田中明男(19期)都合に依り欠席させていただきます。今年はいつにも以上に多忙に過ごしております。予定をにらみながら体力調整をして、皆様もお身体を大切に。

松尾秀雄(19期)大学クラブのOB会を初めて大阪で開催しますので、11月2-3日出席します。今回は欠席させていただきます。ご盛会をお祈り申し上げます。

本山由美子(19期)いつもお便りをいただきありがとうございます。人生もこちらの方が大変長くなっております。故郷のことも、忘れてしまう時が時々あり、ビックリしてしまいます。関東人になつてしまいました。

山縣敏行(19期)今年の1月に転居致しました。

山本恵美子(19期)当日予定が入っておりますので失礼させていただきます。相変わらず元氣です。週一、義母の話し相手に、横浜へ通っています。

飯田美夜子(20期)研修・講演で全国を飛び回っております。ご盛会をお祈りしてあげます。

菊池由美子(20期)前略、この異常気象にともない、春からアレルギー体質。現在、ぎっくり腰。自己愛で頑張っております。

(先生!)時に泣くのも良いかもと思っております。

板崎淳子(22期)元氣にしております。いつもご案内ありがとうございます。

柴田久美子(22期)ご案内いただきありがとうございます。

長尾克己(22期)(事務局の皆様へ)御苦勞様です。元氣に忙しくやっております。省エネ環境事業に取り組んでいます。

下田一弘(22期)鳥取には、2月に1度程度帰省しており、旧交を温めております。

竹田 稔(23期)昨年12月に突然入院し、半年間休職し自宅療養しておりました。今年6月にお蔭様で復職することができました。2度目の人生と思ひ新たな気持ちで働いております。皆様のご健勝をお祈りいたします。

内海香織(24期)息子2人は社会人になりました。私は100才の義母の在宅介護に忙しくしております。皆さんにお会いできなくて残念ですが、ご盛会をお祈り申し上げます。

杉原 純(25期)同じ日に所用が重なり、誠に残念です。ご盛会をお祈りしております。

米原貢代(25期)あいにく当日は予定が入っております。失礼させていただきます。ご盛会をお祈りします。

竹安由紀夫(26期)当日は帰省する予定で

すので、申し訳ありませんが、欠席させていただきます。新幹事でのますますの盛会をお祈り申し上げます。

伊井孝良(26期)本年は残念ながら、欠席させていただきます。

合田幸広(27期)東京勤務1月で丸2年になります。サッカー部(同期)でよく集まっております。今回は鳥取で所用有り帰省します。

有田まゆみ(27期)こちら山梨は富士山・リニアで盛り上がりしております。週末は山梨へ!おいでください。地域のイベント参加の為欠席致します。

小林哲也・利江(27期)娘夫婦が台湾に転勤することになり子守や片付けの手伝いがある出席できなくなりました。残念ですが、今回は欠席させていただきます。皆様に宜しくお伝えください。

近藤聖二(27期)所用があり欠席いたします。会社も定年まで4年になりました。鳥取での同窓会にもごぶさたで恐縮しております。このたび、クラスメートの松尾君が、東京に戻ってきて喜んでいました(旧姓・広田)。

瀧 二郎(27期)所用のため欠席します。皆様によりしくお伝え下さい。

〔平成26年度総会 10月25日(土曜日)アルカディア市ヶ谷にて開催〕

継続可能な「鳥城会」をめざして

鳥城会事務局長 山根かおる

私たちは鳥城会事務局が考える使命の一つは、「鳥城会」をつなげて行くことです。昨今の同窓会に対する期待や考え方の変化、またその活動が一部の会員の負担となつてはいけないことなど課題は山積しています。

継続する同窓会になるためには何が必要なのかをテーマに幹事会は検討を重ねてまいりました結果、まずは会員名簿（会員確定）の見直し作業着手することにしました。

今後の「鳥城会」の運営に関わる重要事項でもあり、また、個人情報という取扱に十分注意が必要な会員名簿をどのように管理し、次の世代へと受け継いでいく上でさらなる発展につなげればと考えています。

鳥城会は会員皆様の御協力で成り立っている会です。この危機にどうか今まで以上の御支援を宜しくお願い申し上げます。
(昭和44年卒 20期)

【事務局幹事】

- 会 計：武田太老 (昭和50年卒 26期)
- 名簿管理：井口靖浩 (昭和51年卒 27期)
- 会 報：中村由紀人 (昭和51年卒 27期)
- 前期当番学年：内田公志 (昭和52年卒 28期)
- 当番学年：井口高志 (昭和53年卒 29期)

【寄付金ご協力の御礼】

- (期順、敬称略) 47名
- (鳥取一中) 谷尾 侃 中野啓一郎 由井俊夫 小田義幸 松田信穂 原 桃介
- (鳥取西高) 上山哲郎 山田憲典 林 輝男 茂田宏子 有松敏樹 山下博三 米濱和英 篠田伸夫 中川浩明 三角幸子 寺澤辰隆 森中章雄 谷川由美子 吉田政雄 小島憲道 松尾秀雄 松本幸子 山本恵美子 蔭山雅博 戸崎博己 山根かおる 長尾克己 山崎恒樹 草野博道 坂口祐二 竹田 稔 永美和憲 鳥飼俊敏 矢谷達樹 武田太老 有田まゆみ 北村 徹 蔵多敏夫 小林哲也 小林利江 野子彰英 中村潔子 宮脇正一郎 武田博史 池内勝彦
- (東京柔道会副会長 故人) 八村義郎 (平成25年度)

【特別寄稿】

太宰治とバー風紋

鳥城会会長 篠田仲夫

「太宰治とバー」といえば、銀座のルパンが頭に浮かぶ。円いスツールに軍隊靴を履いたまま胡坐をかく太宰の姿は林忠彦の写真で余りにも有名である。しかし、同じバーでも、バー風紋と太宰を結び付けられる人は左程いないだろう。

新宿・花園神社の近く、三光町の通りを入ると直ぐ左に地下に下りる階段がある。そこがバー風紋である。「風紋」といえば、我々鳥取関係者は砂丘を思い出すが、残念ながらママは鳥取県人ではない。とはいえ「風紋」という言葉に拘りを持ってくれているだけでママに親しみを覚える。ママは林聖子さん(86歳)。眼鏡をかけた白髪の姿は品があつて素敵だ。

私がこのバーに行くようになったのは、平成3年頃、文芸評論家の粕谷一希さんに連れて行かれたのがきっかけである。粕谷さんは今年5月84歳で亡くなったが、中央公論の元編集長、月刊「東京人」の生みの親として風に有名であり、骨太な文章はファンが多かった。そういう人であるだけに、人物評価は中々厳しいと聞いていた。二次会に連れて行かれたら、気に入られた証拠という。連れて行かれた店がバー風紋



新宿「風紋」

であつた。

ママの母・富子さんは美しい人で、太宰は好意を寄せた。当然、ママも太宰の知己となつた。戦後の第一作「メリークリスマス」はこの母を描いた作品である。聖子さんは太宰の紹介で新潮社に勤め、筑摩書房に転じた後、生活のためにバーを開いた。昭和36年のことである。そこに集つたのが、壇一雄、井伏鱒二、埴谷雄高、竹内好、色川武大、中上健次、安部公房、吉行淳之介等々の面々。この中に太宰はいない。既に鬼籍に入る身であつた。私はこの店で、評伝作家の高田宏、漫画家の林静一、荷風の研究者・松本哉と知己になつた。こんなママでありながら、太宰の故郷・金木を知らないと言う。「そんな馬鹿な」と考えた私は、友人に自宅を開放してもらい、ママを囲むバー風紋の一行に青森の夏を楽しんでいただいた。「ねぶた」を見ていただいたのは言うまでもない。今から10年前のことである。(昭和37年卒 13期)

鳥城会のご盛会を心よりお祈り申し上げます
手作り蕎麦、燻製「あり田」

有田 英昭 (昭和44年卒20期)
神奈川県厚木市岡田5-17-17
電話 046(2228) 0438

鳥城会のご盛会を心よりお祈り申し上げます
造園業「庭吉」

中村 輝実 (昭和44年卒20期)
東京都日野市南平9-33-65
電話 042(5993) 1103

【広告掲載募集】

鳥城会事務局では、運営資金の新たな財源を確保するため、首都圏にある鳥取県ゆかりの企業やお店の皆様から「鳥城会会報」(毎年1回9月に発行)に掲載する有料広告を募集します。鳥城会会員はもとより鳥取県出身の皆様にも直接アピールできる強力な広告媒体としてご活用ください。

平成26年度予算案(概要)

収入の部		支出の部	
年会費	582,500	総会費	900,000
総会費	947,500	名簿発行発送費	0
受取利息	0	通信費	150,000
広告費	0		
寄附金	302,000	役員会・幹事会等費	300,000
雑収入	0	レクレーション補助	100,000
収入計	1,834,500	会報発行費	100,000
前期より繰越金	1,073,355	事務局費用	100,000
合計	2,907,855	諸手数料等雑費	100,000
		予備費	100,000
		支出計	1,850,000
		次期への繰越金	1,057,855
		合計	2,907,855

平成25年度決算報告(概要)

収入の部		支出の部	
年会費	585,000	総会費	901,277
総会費	947,500	名簿発行発送費	0
受取利息	0	通信費	114,350
広告費	0	慶弔費	0
寄附金	302,000	事務用品費	10,288
雑収入	0	役員会・幹事会等費	50,000
収入計	1,834,500	レクレーション補助	0
前期より繰越金	493,771	会報発行費	74,697
合計	2,328,271	事務局費用	104,304
		諸手数料等雑費	0
		予備費	0
		支出計	1,254,916
		次期への繰越金	1,073,355
		合計	2,328,271

(注：単位＝円、会報発行費には郵送料など含む)

(注：単位＝円、会報発行費には郵送料など含む)